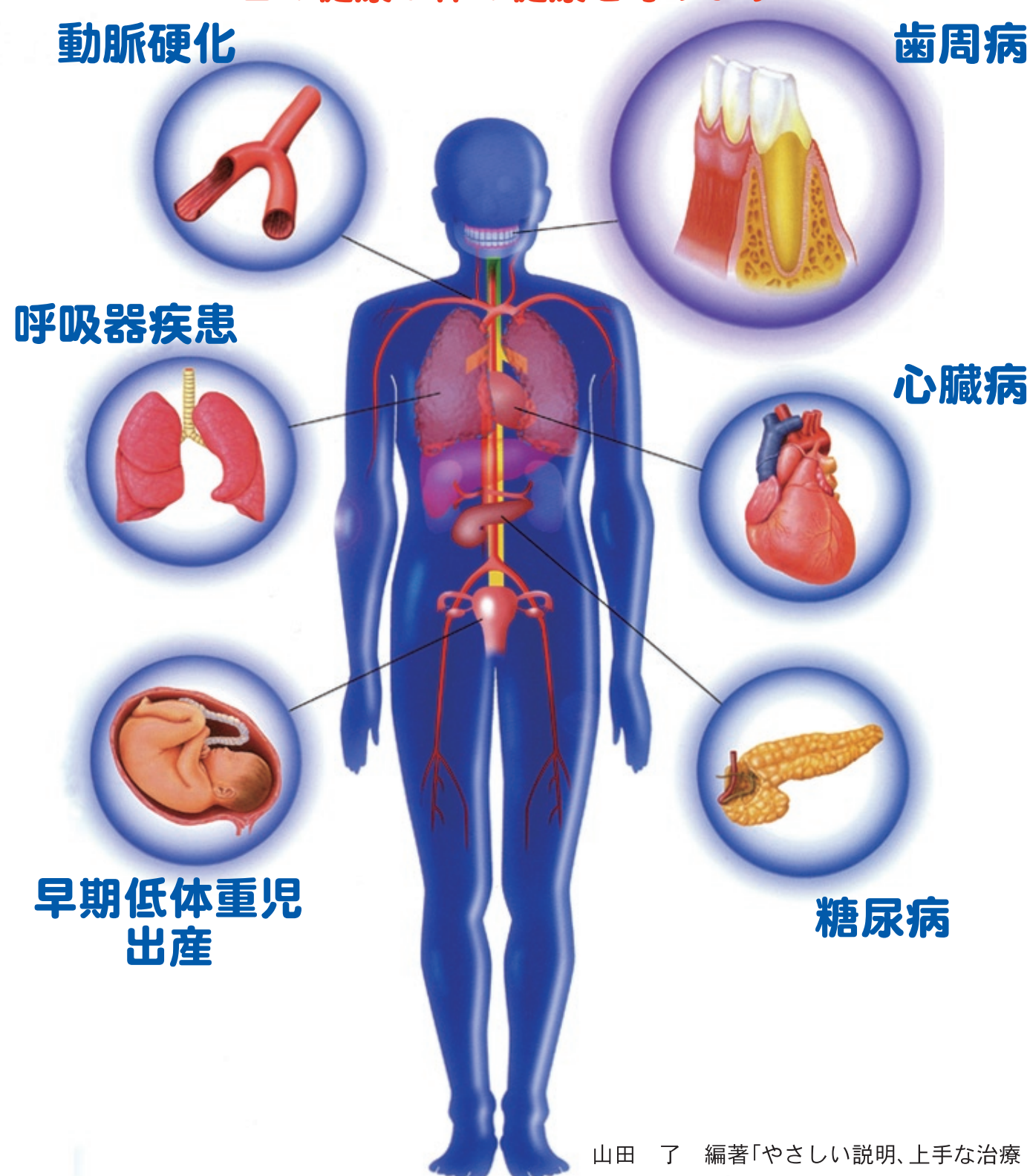


歯ぐきの腫れや出血 もしかしたら歯周病 かも知れません 歯周病の検査そして 糖尿病の検査を 受けてみませんか

歯周病が全身に及ぼす影響

お口の健康が体の健康を守ります



歯周病は
こんな病気に
関わっている

- 動脈硬化などの血管系の病気
- 心臓の病気
- 肺炎などの呼吸器疾患
- 早期低体重児出産
- 糖尿病 など

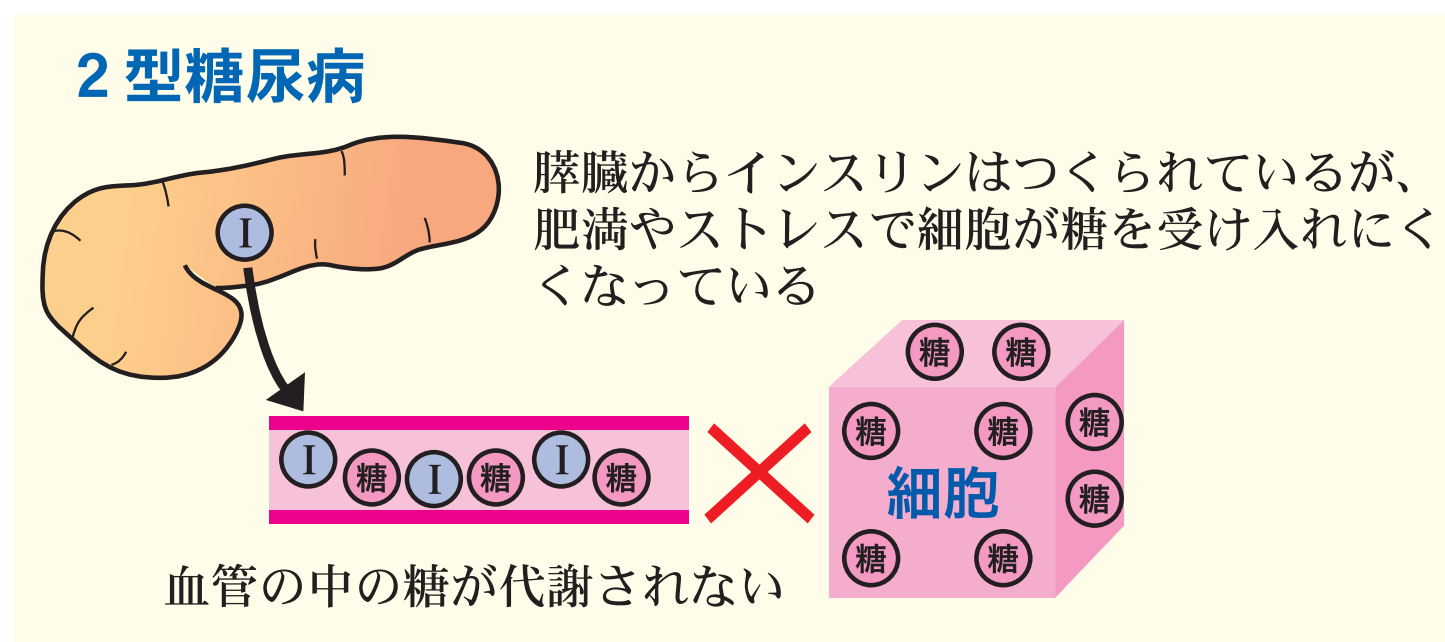
山田 了 編著「やさしい説明、上手な治療 [3] 細菌から体を守るブラークコントロール」永末書店 2001 を一部改変

ご存知ですか？糖尿病と歯周病は相互に影響しています

糖尿病と合併症

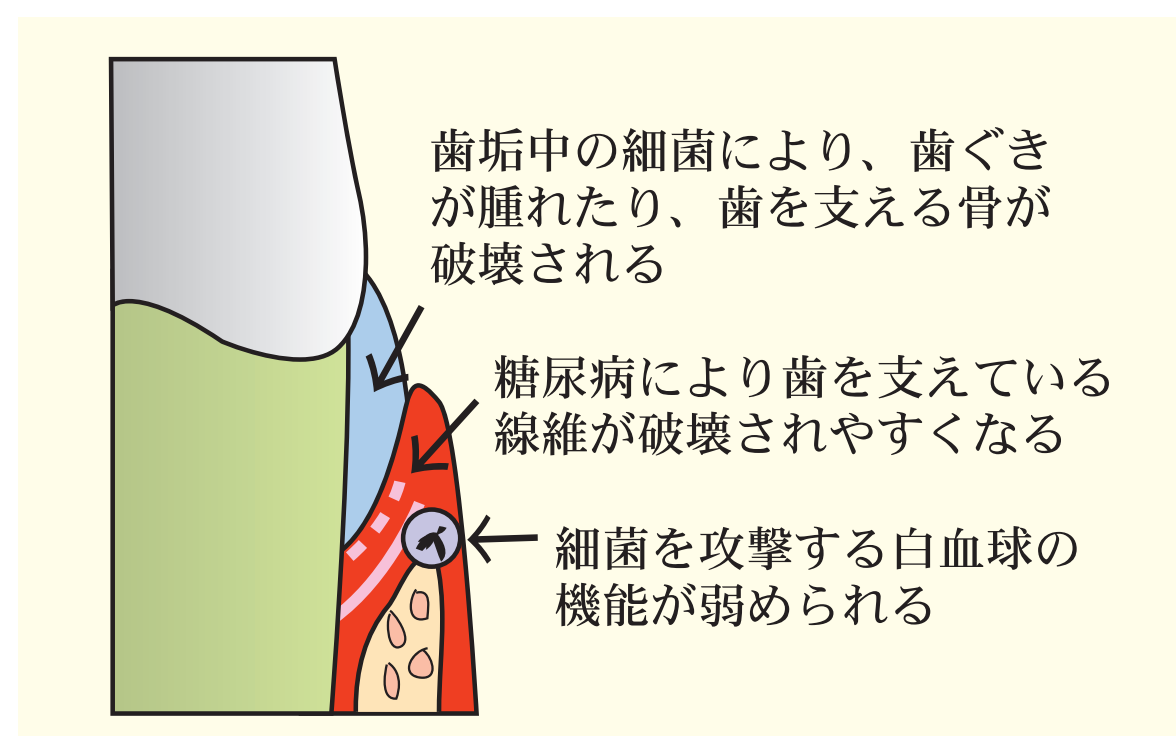
膵臓から分泌されるインスリンの働きにより、糖は細胞に取り込まれてエネルギー源として活用されます。しかし、血液中に糖がたまったままの状態になることがあり、糖尿病と呼ばれます。

生活習慣と関係がある **2 型糖尿病** は肥満やストレスが原因で、細胞のインスリンを受け入れる部分（受容体）の働きが悪くなってしまうものです。**脂肪組織から出される物質によっても、インスリン受容体の働きが悪くなってしまう**。細胞にエネルギーがゆきわたらなくなると、様々な合併症がおきます。代表的なものは網膜症、動脈硬化、腎臓病ですが、**歯周病も糖尿病の合併症と考えられています**。



糖尿病が歯周病に及ぼす影響

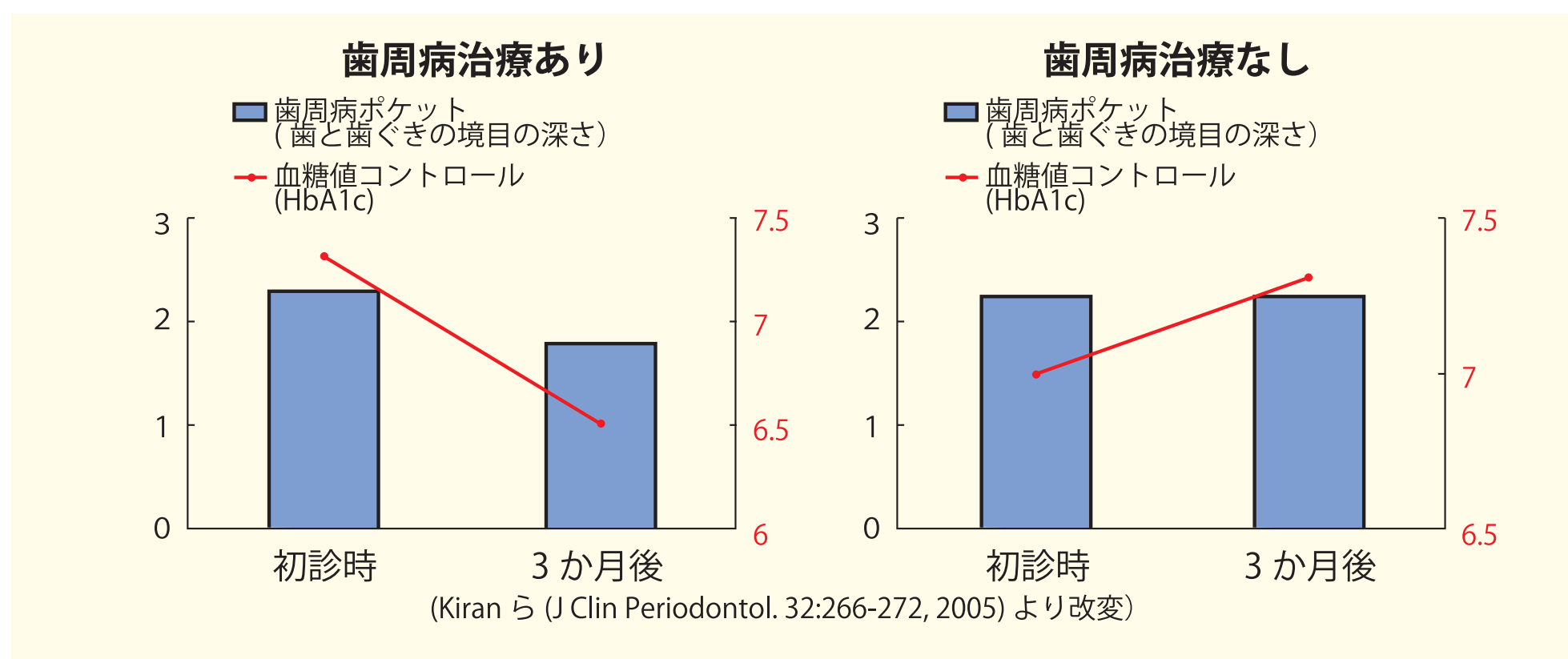
歯周病は歯と歯ぐきの境目に残った歯垢中の細菌が原因で、歯ぐきが腫れたり歯を支えている線維や骨が破壊されたりする病気です。糖尿病によって歯ぐきの線維が壊されやすくなったり、細菌から体を守る白血球の働きが弱められることにより、**健康な人より歯周病の進行が早まったり、歯周病の治療をしても再発しやすくなったり**します。



歯周病が糖尿病に及ぼす影響

一方、歯周病が存在すると、炎症と関連した物質が歯ぐきの血管から全身に出て行きます。炎症と関連する物質の中には、インスリン受容体の働きを阻害するものもあります。きちんと糖尿病の治療をしても、思ったほど血糖値が改善していかない場合には、**歯周病の治療を行うことにより、血糖値が改善することもあります**。

歯周病が疑われる、または未治療の場合には、歯科医院を受診することをお勧めします。



歯周病チェックリスト

	チェック項目	✓	点数
1	朝起きたとき口の中がねばねばする		1
2	口臭があると言われたことがある		1
3	食事のあと、歯の間にものがはさまる		2
4	歯肉から出血することがある		3
5	歯肉がはれることがある		4
6	ぐらつく歯がある		5
7	あまり歯磨きをしない		1
8	タバコをよく吸う		1
9	歯科医院には歯が痛いときしか行かない		1
10	ストレスを感じることが多い		1
11	糖尿病にかかっている		1
12	骨密度が低いと言われたことがある		1

✓のついた項目の点数を合計する

歯周病チェックリスト合計点数の評価

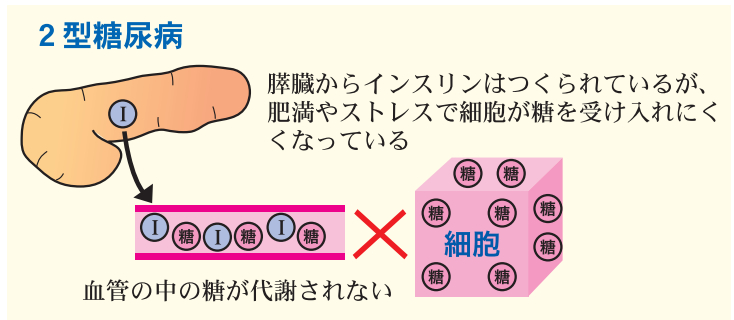
0点 青信号	今は歯周病の心配はありません。しかし、油断禁物。 歯周病のごく初期には自覚症状がありません。 歯みがきを欠かさず、定期的に歯科でチェックを受けましょう。
1～4点 青～黄色信号	歯周病になっているか、なりやすい要因を持っています。 歯みがきと定期的な歯科検診を忘れずに。
5～9点 黄色信号	歯周病にかかっている可能性大。 歯科を受診して下さい。 歯みがきもしっかり行いましょう。
10点以上 赤信号	歯周病がかなり進行している可能性があります。 必ず歯科を受診し、毎食後ていねいに歯をみがいて下さい。

ご存知ですか？糖尿病と歯周病は相互に影響しています

糖尿病と合併症

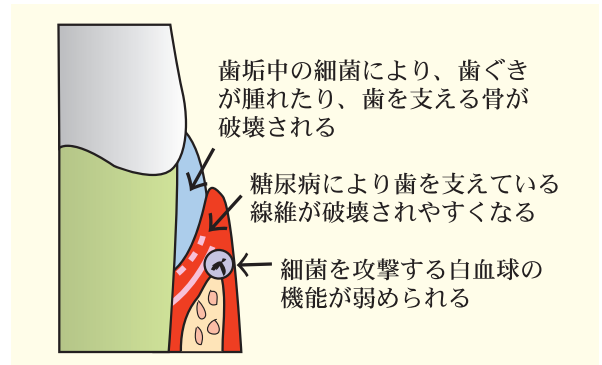
膵臓から分泌されるインスリンの働きにより、糖は細胞に取り込まれてエネルギー源として活用されます。しかし、血液中に糖がたまったままの状態になることがあり、糖尿病と呼ばれます。

生活習慣と関係がある **2 型糖尿病** は肥満やストレスが原因で、細胞のインスリンを受け入れる部分（受容体）の働きが悪くなってしまいます。脂肪組織から出される物質によっても、インスリン受容体の働きが悪くなってしまいます。細胞にエネルギーがゆきわたらなくなると、様々な合併症がおきます。代表的なものは網膜症、動脈硬化、腎臓病ですが、**歯周病も糖尿病の合併症と考えられています。**



糖尿病が歯周病に及ぼす影響

歯周病は歯と歯ぐきの境目に残った歯垢中の細菌が原因で、歯ぐきが腫れたり歯を支えている線維や骨が破壊されたりする病気です。糖尿病によって歯ぐきの線維が壊されやすくなったり、細菌から体を守る白血球の働きが弱められることにより、**健康な人より歯周病の進行が早まったり、歯周病の治療をしても再発しやすくなったりします。**



歯周病が糖尿病に及ぼす影響

一方、歯周病が存在すると、炎症と関連した物質が歯ぐきの血管から全身に出て行きます。炎症と関連する物質の中には、インスリン受容体の働きを阻害するものもあります。きちんと糖尿病の治療をしても、思ったほど血糖値が改善していかない場合には、**歯周病の治療を行うことにより、血糖値が改善することもあります。**

歯周病が疑われる、または未治療の場合には、歯科医院を受診することをお勧めします。

